第５回　国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用
将来ビジョン検討委員会議事要旨（案）

日時：令和３年 12 月 17 日（金）１０：３０～１２：００
場所：琉球大学　大学本部棟４階　第一会議室
構成員：
（琉球大学）大屋理事（キャンパス移転担当）、大城理事（財務・施設・キャンパスマネジメント担当）、筒井学部長、移転推進本部　三沼事務部長
（西原町）総務部　與那嶺部長、建設部　小橋川部長
（西原町民代表）上原自治会　石原会長
（沖縄県）商工労働部　嘉数部長（友利　産業雇用統括監代理出席）、保健医療部　大城部長（諸見里　医療企画統括監代理出席）
（沖縄総合事務局）経済産業部　本道部長
（学識経験者）小野教授（琉球大学工学部）、大城前琉球大学学長

【議事】
（１）琉球大学上原キャンパスの跡地利用に係る将来ビジョン報告書（案）について
琉球大学上原キャンパスの跡地利用に係る将来ビジョン報告書（案）について、資料１に基づき、事務局から説明があり、続いて、小野委員から修正箇所について補足説明があり、年度末までに上原キャンパスの現状分析をより詳細に行いたいとの意見があり、委員長・副委員長と相談しながら修正を反映することとなった。また、事前に意見を頂いた西原町と沖縄県商工労働部にも補足説明をしてもらった。

（２）意見交換
各委員と以下のとおり意見交換を行った。

【報告】
・上原キャンパス跡地利用推進協議会について
上原キャンパス跡地利用推進協議会について、資料２に基づき、事務局から説明があり、来年以降、委員委嘱の手続き等に協力いただきたいとの案内があった。

（主な意見等）
◯委員
資料１－２の２５ページ、コンセプトや基本方針について、“地域”という表現に、周辺地域と沖縄県全体という２つの意味が混在しており、読みづらいのではないか。
資料１－２の１０ページ『跡地利用においては昼間人口を一定程度見込める構想であることは

必要となる』、１２ページ『今後の開発により一定程度の夜間人口が見込めることも重要となる』について、どの程度の人口を見込むこととなるのか、教えていただきたい。

◯事務局

２５ページの“地域”という表現について、会議終了後に委員長と相談したい。

◯委員

どの程度減るのかを可視化することが重要であると考えている。どの程度の人口を見込むのかは、今後の議論によるため表現を修正したい。

◯副委員長

『跡地利用のおいては昼間人口を一定程度見込めるか等を検討する』という表現にしてはどうか。

◯委員長

指摘を受けた意見について、最終版に向けて修正を行いたい。

◯委員

今後のスケジュール、開催頻度、跡地利用推進計画を策定する時期について教えていただきたい。

◯事務局

令和６年度に完了予定の移転までに、何らかの形で計画を策定したい。

◯副委員長

移転時期に合わせながら、早めに検討を進めていきたい。

◯事務局

会議の開催頻度は、年に２～３回を想定している。

◯副委員長

対面会議と並行して、サウンディング調査等を進めたい。調査費等の予算確保も含め、調整したい。

◯委員

跡地利用推進計画の策定時期を含めたスケジュールを教えていただきたい。都市計画の変更にもある程度の時間が必要だと思われる。

◯事務局

検討スケジュールについて、跡地利用推進協議会の第１回で提示したい。